



山越研究員（右から2人目）と意見を
交わす参加者たち

日本医療政策機構

10代の妊娠中絶予防を

釧路で性教育の意見交換

釧路市の性教育に関する
取り組みについて特定
非営利活動法人日本医療
政策機構（東京都）は、

同機構は「北海道と千
葉県における10代男女の
妊娠中絶実施率と性行動
に関する地域研究」につ
いて調査、10代の望まな
い妊娠や中絶を予防する
ための具体策を考察して
いる。この日は思春期保
健事業を進める同市健康
推進課職員をはじめ市会
議員や助産師、教員ら18

日、山越悦子研究員が来
朝し、行政や教育関係者
らと意見交換した。同市
は2000年度から思春
期保健事業を推進。高校
や中学校への出前授業や
講演会などが10代の妊娠
中絶率や性交経験率の減
少などに効果を上げ、全

人が出席。それぞれの立
場における現状や課題、
成果などについて意見を
出し合った。

この中で「性教育は知
識だけでなく、命の大
切さや生き方についての
教育も必要」「子供たち
が自分自身を大切に思え
る体験や実感が持てるよ
う、親や地域も学んでほ
しい」、また「世間で
言葉に抵抗がある人も多

い。心の教育やキャリア
教育と併せて授業に取り
入れるのも方法」などの
提案もあった。

同機構では意見を集約
し、具体的な政策やフォ
ラムの開催などに生か
していくという。

（河辺由紀子）

少ない効果を上げ、全

議員や助産師、教員ら18

言葉に抵抗がある人も多